

森七小だより



No. 3

令和6年6月3日(月)
日野市立日野第七小学校
校長 大西 浩之
TEL 042-583-3907

<https://www.hino-tky.ed.jp/e-hino7/>



「5月を振り返って」

副校長

5月は、個人面談や家庭訪問、学校公開、体力テスト、租税教室、セーフティ教室などに多くの保護者・地域の方にご来校、ご協力いただく機会がありました。

15・18日の学校公開日では、新しい先生や学級に慣れ、授業に真剣に取り組んだり友達と仲よく遊んだりする子供たちの一生懸命な姿をご覧いただけたのではないのでしょうか。多くの児童が、「パパとママが来てくれた!」「おばあちゃんが来てくれたんだよ。」と笑顔で教えてくれました。やはり、何年生になっても家族が来てくれると、子供は嬉しいんだなと思いました。また、保護者の皆様には、ヤゴ取りや畑の整備、体育での長縄の回し手、駐輪場の自転車整理などご協力いただき、誠にありがとうございました。教員と保護者が一緒になって、子供たちのために働く場面が多く見られ、とても嬉しい気持ちになりました。学校公開アンケートのご提出をありがとうございました。ご意見・ご要望に関しては、個別にご対応いたします。

14日の体力テストには、保護者・地域の方から20名以上の方がボランティアとして参加していただきました。皆様のおかげでスムーズに計測でき、予定よりもはやく終わることができました。日差しが出てきて徐々に暑くなってきた日だったので、本当に助かりました。

18日の学校公開終了後に、第2回学校運営協議会を開催しました。児童と教員の関係や授業に取り組む姿、保護者の方が多く参加されていることなど話題になりました。また、第4次日野市学校教育基本構想や学校予算について協議しました。

地域とともにある学校にむけて、児童のために保護者・地域の皆様にご協力を賜りながらすすんでいきたいと思っています。

保護者・地域の方による
ボランティア



どんぐりクラブの皆様



6月の行事予定

1	土	
2	日	
3	月	委員会③・内科(移動教室前健診)(5)・読み(1)
4	火	遠足(2)
5	水	八ヶ岳移動教室(5)・水道キャラバン(4)1・2h
6	木	八ヶ岳移動教室(5)・歯科(1・2)
7	金	5時間授業・避難訓練・引き渡し訓練
8	土	
9	日	
10	月	クラブ②・読書週間始・自転車安全教室(3・4)・読み(4)
11	火	自転車安全教室(4)
12	水	校内研授業①・4時間授業・B時程
13	木	読み(3)・自転車安全教室(3)
14	金	安全指導・遠足予備日(1)
15	土	
16	日	
17	月	5時間授業・水泳指導始・読み(5)
18	火	内科(6)(移動教室前健診)・読み(6)
19	水	4時間授業・交通安全教室(1・2・5・6)
20	木	日光移動教室(6)・給食試食会
21	金	日光移動教室(6)・ポッチャ(2)・読み(2)
22	土	4時間授業(1~5)・土曜授業日(月曜時程) ・日光移動教室(6)・読書週間終
23	日	
24	月	振替休業日
25	火	
26	水	読み(2)
27	木	笑顔と学びパラスポーツ(4)
28	金	
29	土	
30	日	

※行事等については変更・中止となる場合があります。

6月の目標

- 生活指導目標 「健康や安全に気をつけて生活しよう」
「校舎内での挨拶をきちんとしよう」
保健目標 「歯を大切にしよう」
給食目標 「食事の前後はきれいにしよう」

◎ 親切・思いやりについて

生活部

先日、夕方に近所の方から学校に電話がありました。中央公園で小さな幼児を遊ばせていたところ、ブランコに乗りたいたってブランコに行くと、遊んでいた七小の男児2名が快くブランコを譲ってくれたということでした。さらになかなか降りたがらない幼児に対して、優しい言葉をかけてくれたということでした。男児たちの親切で思いやりのある行動がとても嬉しかったようで、その件について電話で知らせてくれました。

その話を聞いて、七小の児童が小さな子供に親切で思いやりのある行動がとれたこと、またその話をわざわざ学校に連絡して下さったことがとても嬉しかったです。児童朝会でもこの話を全校児童に伝えました。

道徳の学習でも必ず『親切・思いやり』については取り扱います。親切な行動はした方もされた方もとても心が温かくなります。その温かさをたくさん経験すると、また人に親切にしたいくなるものです。普段の学校生活でもたくさんの小さな親切が見られます。そんな場面を見逃さず、「良いことしたね」「助かったね」「嬉しかったでしょう」などと声をかけ、そんな行動がたくさん見られる学校になればいいなと思います。

◎七小の特別支援教育について

校内支援委員会

学校は、学習や生活を通して友達と協力して成長していく場です。しかし、一人で困っている児童や解決がうまくできずに周りを困らせてしまう児童もいます。まずは一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うのが「特別支援教育」です。

本校の特別な支援の体制は次の通りです。まず、コミュニケーションの支援を行うのがステップ教室（月火木金）です。小集団活動及び個別の学習指導（自立活動）を行います。また、専門員はステップ教室の教員と学級担任とのつなぎ役を果たします。巡回心理士も年間8回来校してサポートしてくれます。一方、学習の支援をするのがリソースルームです。学級とは別の教室で、少人数（1～2人）で既習学習の復習を主に学習支援を行います。他にも、学期に1回ずつ来校して全児童を見てくださる明星大学教授。児童だけでなく保護者のご相談にも応じてくださるスクールカウンセラー（週2回）。様々な立場から多くの目で本校の児童を見守り、支援を行っていきます。なにか心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。

◎セーフティ教室を終えて

生活部

1・2・3年生では、「いかのおすし」いかない・のらない・おおきな声を出す・すぐになげる・しらせるを使って、自分の身を不審者から守る学習をしました。DVDを視聴し、具体的な例をもとにどうしたら良かったかなど、みんなで意見を出し合いながら考えました。また、1人にならないこと、人通りのいないところは通らないことなど自分の身を守るために大切なことを確認しました。自分の身は、自分で守らなければいけないことがあることをしっかりと確認するのは大事だと思います。ご家庭でも、確認をしていただければと思います。

4・5・6年生はe-ネットキャラバンによる「ネット安心安全講座」が行われました。SNSの便利さとともに、その危険性についてビデオなども見ながら学習しました。子供たちは、「個人情報や動画や写真をあげないこと」「LINEなどで送信するときは相手がどう思うかを考え、必ず読み直してから送信すること」「必ずフィルタリングをかけること」など、必ず守るべき基本的なことを学びました。多くの児童がスマホを使用しています。今一度、使用方法など家族で話し合ってみてください。